

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.161

Q.

なぜ外貨建て資産を持つことが大切なの？

A.

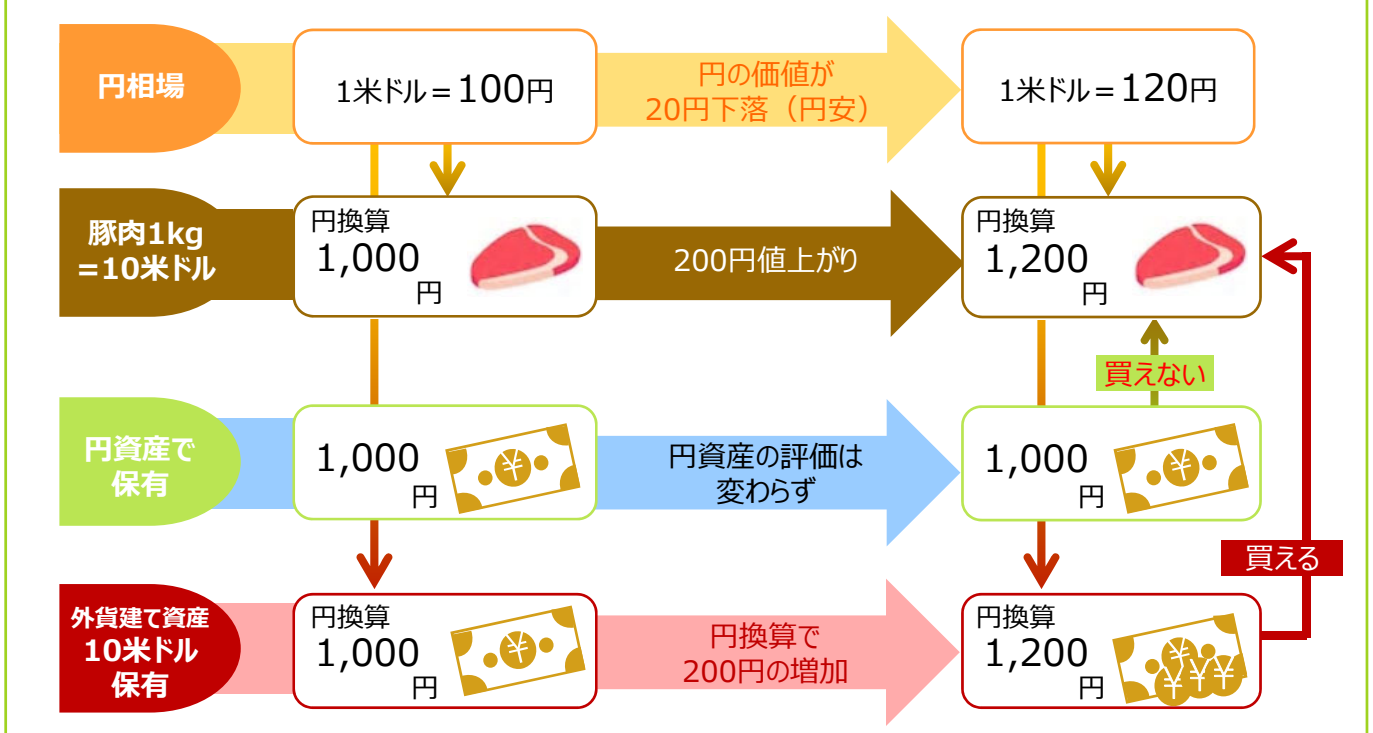
食料や原材料などの多くを輸入品に頼っている日本において、円安が進むと物価上昇により資産価値は実質的に目減りします。外貨建て資産を保有することで、目減りを抑える効果が期待されます。

日本の食料自給力は世界的に低く、食料や原材料などの多くを海外産に頼っています。そのため円安が進むと、輸入されるモノの値段の上昇を通じて、国内物価に上昇圧力がかかる可能性があります。このようなケースで外貨建て資産を保有していれば、仮に物価が上昇した場合には、資産価値の実質的な目減りを抑える効果が期待されます（円高になった場合には、逆効果となります）。

1kg=10米ドルの豚肉を輸入した場合、豚肉価格は1米ドル=100円の時には円換算で1,000円ですが、1米ドル=120円の時には1,200円に値上がりしてしまいます。円安が進むと当初の1,000円で豚肉は購入できず、同量の豚肉を買うためには、お金を追加して払わなければなりません。しかし、外貨建て資産で保有した場合には、円安によって円換算の価値が増加するため、お金を追加しなくても値上がりした豚肉を購入することができます。

したがって資産価値の実質的な目減りから守るためには、足元の為替水準や物価動向を踏まえ、外貨建て資産の保有を含めた資産運用を考えることが大切です。

円安の進行により物価が上昇した場合



(注) 円高の場合は、上記とは反対に円換算の評価額は減少します。
※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

※イラストはイメージです。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DS アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。